

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	介護保険サービス（入所系サービス）
事業所名	特別養護老人ホーム せせらぎ苑
代表者氏名（管理者）	苑長 尾崎 美登里
法人名	社会福祉法人 甲南会
定員（利用人数）	68名（多床室・従来型個室）
施設・事業所所在地	滋賀県甲賀市甲南町葛木855番地
T E L	0748-86-1020
F A X	0748-86-8086
電子メール	seseragi@kohnankai.jp
ホームページアドレス	http://kohnankai.jp

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	令和3年1月14日

3 評価の概要

○ 総合評価

甲賀市甲南町は、甲賀流忍者で有名。せせらぎ苑は、山、丘、川、田園、茶畑や製菓業などの工場、旧市街地、新しい住宅地が見渡せる丘陵地にあり、ゆったりとした気持ちになれる環境にある施設です。同時期に開発された同区域には、子育て支援センターや運動公園、アール・ブリュットで有名なやまなみ工房、美術館、カフェ等があります。連携する病院も苑から近距離にあり安心感があります。

社会福祉法人甲南会は、旧甲賀郡甲南町（現甲賀市甲南町）住民の熱い思いと行政のバックアップの元、平成8年3月に法人設立され、せせらぎ苑（特別養護老人ホーム）は平成9年4月に開設されました。法人事業は、平成8年4月に開設された保育園、介護事業としてショートステイ、デイサービス、ケアハウス、グループホーム、居宅介護支援センター、訪問介護と地域福祉のニーズに応じた展開となっています。

地域の強い要望で実現した施設ということで、地域とのなじみも深く、近くの住民の方々がボランティアに来られる中で、施設の事や介護のことを身近に知ることが出来ます。地域の依頼に応え、施設職員が出前講座の講師を引き受けたりもしています。また、認知症等により在宅生活が困難になった方や、甲賀市の措置として入所される方の受け入れ体制も整っています。

平成12年の介護保険制度施行より、国の政策としてそれまでの従来型特養（多床室）からユニット型特養（個室）の整備が推進されるようになりました。ユニット型では10人程度の単位で生活、職員もユニットごとの配置となり、家庭的な雰囲気の中での一人ひとりの生活リズムに合わせた生活を送ることができます。しかしその分施設費用が高くなり、また小さな空間での人間関係に問題が生じやすいという課題もあります。

せせらぎ苑では、従来型（多床室）のホーム継続にこだわり、ハード面で制約があるところを、従来型施設のメリットとユニット型のよさを相互に取り入れた形で施設環境を整え、利用者の個別対応に努めています。

○ 特に評価の高い点

☆地域に根差した施設運営

法人の理念に基づき地域貢献を大切にした施設運営が行われています。平成27年9月からは、施設スペースを活用した子どもの居場所づくり事業として「フリースペースせせらぎ」を開設し、令和3年1月からは甲賀市と連携を図りながら学習支援事業「学んでいコウカ」に取り組んでいます。施設の栄養士が地域住民向けに料理教室や出前教室を開いたり、職員を出前講座などへ派遣しています。また、ボランティア会議への会場提供や、住民との交流を通じた福祉ニーズの把握にも努め

、地域に根ざした運営に努めています。

☆職員の労働環境への配慮

法人自らが人材を「人財」と定義し、職員を大事にした人財育成・研修体制を整えています。介護職員不足について、法人として重点課題として事業計画にあげ、採用・定着に職員の意見を取り入れています。職員への聞き取りでは、『働きやすい職場』『上司と話がしやすい』というコメントが多く聞かれました。また、福祉用具の積極的活用で、重度化した利用者や職員にも安全・安心な介護が提供できるよう努めています。年1回個別面談を行い、職員一人ひとりの意見を大事にしています。「働き方改革チーム」や「サービス向上委員会」が中心となり、働きやすい職場づくりやワーク・ライフ・バランスへの取組みを進めています。

☆具体的な事業計画に基づく運営

中期事業計画として「せせらぎ苑3年計画」を策定しています。計画の中には部署や委員会別に詳細な事業目標や3年間の工程表も設定されており、各部署の担当者は常に目標への実施状況を確認しながら、定期的に評価・見直しを行っています。このように個々の職員が自らの仕事の目標を具体的に理解しながら仕事に取り組めることは、職員のモチベーションアップに繋がっていると考えます。

○改善を求められる点

事業の中の他の部門（ディサービスセンター、グループホームなど）では、利用者の個別ケアや一人一人の思いや希望をいかした活動が継続されています。一方、重度の介護の必要性が高い特別養護老人ホームでは、今年度は新型コロナウイルス感染症対策もあり、利用者へ働きかけることや選択できる活動を提供する機会が少なくなっています。感染者を出さないだけでも大変なご苦労と思います。今後感染状況が落ち着けば、利用者一人ひとりが役割や生きがいを感じられる活動や個別ケアが提供できるよう期待します。

※利用者アンケートに関する補足

今回の利用者アンケートの結果について評価機関としてコメントを記載します。

アンケート集計結果をまとめた「アンケート分布レーダー（円グラフ）」において、特徴的な数値の凹凸が顕著に表れています。この現象については、現在の新型コロナウイルス感染防止のため、長期の施設での面会禁止期間があり、ご家族も面会すら出来ない時期が続きました。この結果として、入所中のご本人の状態や施設の様子が分からない事となり、ご家族もアンケートに「わからない」と答えざるを得ない状況になったと推測できます。従って、今回のせせらぎ苑利用者アンケート

の特徴的な円グラフは、実際のせせらぎ苑の評価を表したものでないことをご理解ください。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

新型コロナウイルス感染症の流行下において実施したということもあり、利用者のご家族との関わり等が行えていない中での評価となりました。

自己評価については、自施設では職員参加型で行っていますが、評価となる根拠についてひとつずつ丁寧に確認していくことが必要であり、今後の自己評価につなげていきたいと考えています。

改善点について、コロナ禍において利用者の生活を守るため、事業継続することに重点をおいた一年でありましたが、今後はその中でも利用者の生活が向上するような取り組みをしていきたいと思えます。

高く評価をいただいた点については、職員が働きやすい環境を整えていくこと、今後も地域に根ざした運営を継続して行っていきたいと思えます。

法人理念の「甲南会は、安心・安全、よろこびを追求します」をしっかりと意識して事業を進めていきます。